



特定非営利活動法人
ニッポン・アクティブ
ライフ・クラブ
ナルク
NALC 横浜
発行者 吉川 武

横浜市旭区鶴ヶ峰2-52-2
TEL 045-719-5001
FAX 045-719-5002
Email: nalchama@minos.ocn.ne.jp
http://www.nalc-hama.net/

「地域社会との連携・参加」を更に進めます

ナルク横浜代表 吉川 武

ナルク横浜の活動は、会員各位の取り組みで年々着実に伸長を続けています。

ナルク横浜を更に充実強化するヒントは、「地域社会との連携と参加」にあるのではないかと考えます。

市町村行政や社会福祉協議会・地域包括支援センターなどの各組織、そして地域で活動を続けておられる各ボランティア団体などとの連携や諸行事への積極的な参加が大切と考

えています。

ナルクの成長・充実に必要な情報やアイデア・ヒントをそこでたくさん発見することができるのではないのでしょうか。

ナルクの存在感を地域に広め、必要な情報を得るとともに、ナルク活動のPRや会員獲得にも効果があると存じています。



西ブロックの地域活動

リーダー：上菌 正昭

◇「大和カッコフェスタ」は、毎年11月第一日曜日、大和市民活動支援センターで開催されます。大和市周辺の会員が運営に携わり、会員の手作り品や家庭内の不要品などを販売しながら、会員勧誘の取組みを行なっています。



◇旭区での地域活動では、2月に開催される社会福祉協議会主催の「きらっとあさひ福祉大会」に参加し、会員の手作り品の販売とナルクのPRを実施しています。

◇旭区のボランティア団体が、一同に会しポスターなどを展示して、お互いの活動を知ってもらう「みなくる交流会」にも参加しています。

北ブロックの地域活動

リーダー：吉武 道子

◇北ブロックでは、二つの地域行事に参加しています。

大規模な地域（青葉区民まつり）と顔なじみの多い地域（奈良地区ケアプラザまつり）と体制が違うのですが、どちらも特長があり、もっときめ細かくかかわっていきたいと思っています。

◇ブロックの特質を生かして「折り紙教室」と、手作り品の販売を継続しており、地道なPR活動で会員増加につなげていく予定です。

奈良地区では過去に入会につながったこともあり、積極的にPRしていきます。相模原地域では、市民活動センターに登録しました。



やさしさも楽しさも
ある
ナルク横浜

9月末会員数：528名、（男性：221，女性：307）

項目 ブロック	会員数	預託時間点数		奉仕時間	
		8月	9月	8月	9月
北	185	238	235	142	156
中央	76	109	132	40	36
西	192	322	343	67	79
湘南	75	56	51	85	145
合計	528	725	761	284	416

中央ブロックの地域活動

サブリーダー：増原 恵輔

中央ブロックでは、組織最大の課題である会員増強の前提となる「ナルク横浜」の知名度アップの観点から、昨年に続き



本年も保土ヶ谷区役所主催の「花フェスタ」に出店し、同時に「ほどがや市民活動センター」への団体登録を行いました。



今年8月26日同活動センターで開催された「利用者交流会」に、坂間会員と増原が出席し、参加者約20団体にナルク横浜のパンフレットを手渡して、しっかりPRに努めました。今後も引き続き、地域の行事に参加して会員増強に努める所存です。

湘南ブロックの地域活動

リーダー：棟保 禎彦

昨年に引き続き、「平塚市民センター祭り」の実行委員会副委員長として企画段階から参加。4月以降毎月開催の実行委員会を経て9月24日の本番にこぎつけました。



44団体が参加のこの祭りには、九千枚のポスター事前配布や平塚駅頭での二度にわたる一千枚のポスター手渡しが効を奏し開会時間前から多くの市民が詰めかけました。各団体制作品販売・フランクフルトなど飲食物の販売・子供対象のスーパーボールすくいや輪投げ、そして何より各団体PRや会員勧誘活動も工夫を凝らして大賑わい。勿論わがナルクも頑張り、入会が見込める方も数名ありました。今後をお楽しみに。

<ナルク横浜の成年後見>

ブロックへの出前、成年後見講座

後見人会・福江 孝夫

8月から各ブロックの交流会で「出前・成年後見講座」を行っています。過去3年間、旭区鶴ヶ峰の旭区福祉保健活動拠点「ぱれっと旭」で、成年後見講座を開催してきました。そこには遠くて参加できないものの、成年後見に関心を持っている会員が多いだろうと考えての企画でした。

ブロックの役員が積極的に勧誘したこともあり、通常の交流会より多くの参加者でした。同時に、参加した皆さんの関心の幅は拡大しました。家



族が身近に住んでいて不安はないが知識として深めておきたい方、一人住まいなのでナルクの支援を得られないだろうか、ナルクは他と違って

後見活動ができるのか、と考えている方などなど。

切実に考えている方々とは個別にお話を伺い、ナルクの任意後見に限定せず、どんな対応があるのか、ご

一緒に考えることが必要であると痛切に思いました。

<どんなことでも一人で悩まず、まず相談>

ご希望の方はナルク横浜事務所(045-719-50)あるいは福江宛ての電話(090-7736-8092)へどうぞ。こちらからの折り返しの電話で、具体的な相談日程を確認します。

新入会員のひとこと

ご縁で

北ブロック 田宮 和子

吉田豊美様から勧められて、入会しました。詳しい説明は聞いてなくて何もわからないまま最初に8月の暑気払い交流会に参加。ここで様々な方から声をかけて頂きました。

中でも10年位前の体操教室で一緒になった方からも声をかけられ、大変不思議なご縁を感じました。

皆様に優しく迎え入れて頂いた事で人との繋がり大切さ、楽しさを感じました。私も出来る事から参加させて頂けたらと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

ナルクへの入会

西ブロック 早川 晃

退職を機に自分に出来るボランティアはないかと、思いつつも探す手段も知らず困惑していました。

そんな折、書道教室に通っている高橋さんから「ナルク」を紹介され、その後西崎さんから活動内容などの話をお聞きし入会しました。

「出来ることを出来るときに」をモットーに活動し継続することで少しでも社会やナルクのお役にたてればと考えております。

諸先輩方のご指導のほどよろしくお願い致します。



「赤い羽根共同募金活動」に参加して

中央ブロック 増原 恵輔

今年も10月1日の「赤い羽根共同募金活動」に、中央ブロックから4名、西ブロックから2名、合計6名が参加しました。

当日は10時から、神奈川県副知事、横浜市

副市長も出席のオープニングセレモニーの後、10時30分



からナルクを含むボランティア数団体が横浜西口駅付近の数か所に分かれて12時まで募金活動を行いました。

多数の通行人に大声を張り上げて募金への

協力を呼びかけましたが、ダイヤモンド地下街の入り口付近で屋根のない陽射しの強い場所のため、途中で頭がぼんやりして「赤い羽根」を「赤い靴」や「赤い船」と言い間違えてはっとする場面もありました。

結果的には20名~30名の通行人に協力をい



ただしましたが、これは通行人のごく一部で、少々残念な思いもしました。本来の目的（慈善活動への参加）に加えて、いささかでもナルクのPRにもなったのでは、と思っています。

新入会員のみなさんを紹介(敬称略)平成29年8月・9月

<北ブロック> 8月
野口 佐智子 横浜市緑区霧が丘

<北ブロック> 9月
小野 茜 横浜市青葉区奈良

<西ブロック> 9月
宮口 アイ子 横浜市保土ヶ谷区
仏向町
佐藤 公春・ゆり子 横浜市戸塚区名瀬

伊豆大仁温泉一泊旅行を終えて

歩こう会として毎年実施している「おおりり」の一泊旅は低料金で実施できるが、その内容について一考を要するとの意見があり今年度は「365日同一料金」の伊東園ホテルグループの伊豆大仁ホテルに宿泊する一泊旅行を実施しました。このホテルは旧大仁プリンスホテルで、かつて長嶋選手が山ごもりと称し自主トレをしたことで知られる所で、豪華な内部設備などは当時のまま引き継がれています。

実施方法はホテル側の送迎バス利用ではなく毎月の歩こう会同様に現地集合とし、第一日目は連日続いた秋の長雨が一休みの絶好の行楽日の10月18日12時10分に東海道線三島駅に集合、バスで「三島スカイウオーク」へ、全長400メートルの大吊橋を渡るなど園内を散策後、バス、電車を乗り継ぎ大仁ホテルへ、夕食は我々グループだけの席での食事、バイキングとは違いゆっくりと懇談しながらの時間を過ごし食後は無料のカラオケを夜遅くまで楽しみました



翌日は一転して朝から冷たい雨に見舞われたため、二日目の予定を全て取りやめ帰途につきました、参加者は13名でした。

今回は従来に比べ費用負担が増えましたが、コース選定や食事など当方のプラン通りに遂行できたことに意義があったと思います。

北ブロック 沼沢新太郎

一歩こう会

●11月：藤野芸術村散策

日時：11月8日(水)
 集合場所：JR中央線藤野駅 改札口
 時間：午前10時
 [問合せ]：北 B 沼沢 (042-733-8528)
 湘南 B 吉川 (0463-58-6030)

●12月：「幕末の歴史探訪 川崎～生麦」 キリンビアポートで忘年会

日時：12月7日(木)
 集合場所：JR川崎駅 改札口
 時間：午前10時(忘年会のみ出席は12:45
 直接会場へ集合)

●30年1月：神奈川県内七福神巡り

日時：平成30年1月5日(金)
 集合場所：JR新横浜駅 改札口
 時間：午前10時

注：詳細は、後日発行の「案内書」を確認ください

ハマっ子広場

～川柳～

*身の廻り整理シンプルイズベスト
 *人生に難問奇問多すぎる

小道

～俳句～

*病む友の安否気遣ふ星月夜

容子

*花生けて両手で包む吾亦紅

佳美

*雨戸よりかすかな光星月夜

佳子

*見え渡る尾瀬のかぎりを草紅葉

良一

あとがき

編集委員長を受け継ぎ早1年半が経過しました。その間、宮田さんが体調を理由に活動を制限され、現在はメールでのご指導を賜っています。

今年はカラー化を実施、その後ナルクの事務所に新しいコピー機が設置され、コスト面も考慮して、2色印刷となりました。毎回多くの方から原稿をお寄せいただき、この「赤いくつ」が成り立

っておりますことに感謝申し上げます。限られた時間で、限られた文字数の中で、いかに効果的に編集していくのか。常に模索しております。

今号からは内田 絵美子さんにも加わっていただき、より円滑な編集作業が行えるよう、編集委員一同頑張っておりますので、より一層のご愛顧をお願い申し上げます。

編集委員 中臺 博